

## 用語解説

【あ】	
アイデアソン	アイデアとマラソンを組み合わせた造語。様々な分野の人が集まり、短期間で新しいアイデアを生み出す参加型講座。
アクア・イノベーション拠点	信州大学に整備された産学官連携研究開発拠点。「世界中の人々がいつでも十分な水を手に入れられる社会」の構築に向け、革新的な「造水・水循環システム」の研究開発・事業化を推進している。
アダプト	自治体と住民組織が役割分担について協定を結び、道路や河川の維持美化活動を行うこと。
飯田下伊那診療情報連携システム (ism-Link)	ICTにより参加機関同士が処方、検査、画像情報等を含む医療情報を共有、閲覧できるネットワークシステム。
一次加工品	カット野菜など農畜産物を直接の原料として、その性質を大きく変更することなく処理・加工を行ったもの。
一貫作業システム (造林)	伐採・搬出作業と並行して植栽も実施する造林の作業方法。
イノベーション (イノベティブ)	これまでのモノ・仕組みなどに対して、全く新しい技術や考え方を取り入れて新たな価値を生み出し、社会的に大きな変化を起こすこと。
ヴァインヤード	ワイン用ぶどうの栽培園。
エコパーク	ユネスコの「人間と生物圏」計画 (1971 年発足) に基づいて指定された「生物圏保全地域」。
エコファーマー	持続性の高い農業生産方式の導入に関する計画を提出して知事の認定を受け、環境に優しい農業を実践する農業者。
エシカル消費	人・社会・環境・地域などに配慮した消費行動。
エンパワーメント	「力をつける」の意で、一人ひとりが社会の一員としての自覚と能力を高め、政治的、文化的、経済的に力を持った存在になること。
おいしい信州ふード (風土)	本県の素晴らしい農畜産物の魅力を県民一人ひとりが共有し、情報発信する県民運動として平成 23 年から取組を開始。「プレミアム」(厳選素材と厳密基準)、「オリジナル」(オリジナル品種と全国シェア上位品目)、「ヘリテイジ」(伝統野菜と郷土食) の 3 つの基準で厳選。
オープンイノベーション	不足する技術等の資源を、他の企業等から補い、新たな製品やサービス (新たな価値) を生み出すこと。
オーラルフレイル	加齢による咀嚼 (食物を飲み込める程度にまでかむこと) や嚥下 (飲み込むこと) 等の口腔機能が低下する前段階。

【か】	
企業版ふるさと納税	本社所在地以外の地方公共団体が行う地方創生事業に対する企業による寄付。税額控除の対象となる。
技術シーズ	大学や企業等が研究開発した新技術等で、将来、事業として実を結ぶことが期待されるもの。シーズ (seeds) は日本語で「種」の意味。
北アルプス連携自立圏	定住自立圏の中心市要件を満たす都市がない大北地域 5 市町村で形成した圏域。
寄附講座	大学や研究機関の講座において行われる教育研究に相当するものを実施するもので、民間や団体等からの寄附により教員給与、研究費等その運営に必要な経費を賄うもの。

救命救急センター	心筋梗塞、脳卒中、頭部損傷等の重篤救急患者の救命医療を行うことを目的に設置された施設で、高度な救急医療を 24 時間 365 日体制で提供できる機能を有するもの。
クラウドソーシング	インターネットを介して不特定多数の個人又は企業から人材を調達する仕組み。
クラウドファンディング	インターネットを介し、不特定多数の人から資金調達する仕組み。
クリエイティブ人材	企画、デザイン、パフォーマンス等を通じて新たな価値創造をする人材。
芸術監督団	(一財)長野県文化振興事業団に配置された音楽、演劇、美術など複数の芸術分野の専門家。
ゲートキーパー	自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を図ることができる人。
健康経営	社員の健康づくりを経営課題として捉え、社員の健康増進に努めることによって、医療費適正化を図るだけでなく、労働生産性を向上させ、企業価値の向上にもつなげようとする経営手法。
健康投資	医療費の縮減や従業員の生産性向上などのため、個人や企業が健康維持・増進の取組に必要な経費を将来への投資として捉えること。
航空機システム	航空機の機体構造(胴体、翼など)及びエンジン本体を除いた装置類の総称。
航空レーザ測量	航空機に搭載したレーザスキャナを用いて地上の標高や地形の形状を調べる測量方法。
高等教育機関	大学、大学院、短期大学、高等専門学校、専門学校。
高密度播種育苗	乾籾を通常の約 2.5 倍の密度で播種し育苗する技術。育苗日数を短くでき、田植えに使用する苗箱数を減らすことでコスト削減や運搬労力の軽減につながる。
国際戦略総合特区	産業の国際競争力の強化を図るため、地方自治体からの申請に基づき、国が規制の特例措置や財政上の支援等を行う制度。
子どもの貧困率	平均的な所得の半分を下回る世帯で暮らす 18 歳未満の子どもの割合。
コワーキングスペース	事務所、会議室、打ち合わせスペース等を共有しながら、起業・創業を目指す人や、フリーランス(個人事業者)が仕事をする交流型オフィス。Co(共に) working space(働く場所)の意味。
コンテナ苗	従来のものより小さい特殊な容器で育成された苗。植栽可能時期が長く、植え付け作業の効率化が図られる等の特徴がある。

<b>【さ】</b>	
サイクルステーション	サイクリングの途中で休憩や自転車の簡単な整備のために立ち寄ることができる施設。
サステイナブル観光	観光客や観光関連産業、地域社会の需要を満たしつつ、現在及び将来の経済・社会・環境への影響も十分考慮した持続可能な観光
サテライトキャンパス	大学や大学院の本部から離れた場所に設置されたキャンパス。
産業振興と人材育成の拠点	2016 年度から旧飯田工業高校の跡地を活用して整備が進められている大学、試験研究機関、産業支援機関等を集積した複合施設。
ジオパーク	地球活動の遺産というべき地質遺産(地層、地形、断層など)を主な見所とした自然に親しむための大地の公園。
持続可能な開発目標(SDGs)	Sustainable Development Goals 2015 年 9 月に国連持続可能な開発サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 年アジェンダ」に盛り込まれた 17 の目標と 169 のターゲット。
週末信州人	長野県内にも生活の拠点を置く県外住民。
循環資源	廃棄物等のうち再資源化等が可能なもの。
食育	様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること。

職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度	短時間正社員制度など多様な勤務制度を導入し実践的な取組を行っている企業を、一歩進んだ企業として県が認証する制度。
信越トレイル	登山道や林道などをつないで整備された自然歩道。長野・新潟両県をまたぐ80kmにおよぶ日本屈指のロングコース
信州学	県立高校が地域の特色を生かして独自に取り組む探究的学習。
信州型コミュニティスクール	学校運営参画・学校支援・学校評価の機能を一体的・持続的に実施することにより、学校と地域との協働活動を行う学校。
信州型次世代産業クラスターバレー	今後成長が期待できる分野について、産学官金連携により新たな産業を創出する取組。
信州型ユニバーサルデザインに基づく授業	すべての児童生徒にとって分かる授業づくりの共通基盤の上にある授業。
信州ジビエ	県内で捕獲したニホンジカの肉。
信州プレミアムカラマツ	林齢80年以上などの規格を満たした高品質なカラマツ丸太の統一ブランド名。
信州やまほいく（信州型自然保育）	信州の豊かな自然環境と多様な地域資源を活用した、様々な体験活動を積極的に取り入れた保育・幼児教育と認定されたもの。
森林セラピー®	森林浴による癒し効果が科学的に認められた森林を医療やリハビリテーション、カウンセリングに利用すること。
スーパーグローバルハイスクール	将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダーを育成するため、グローバルな社会課題を発見・解決できる人材や、グローバルなビジネスで活躍できる人材の育成に関する教育課程等の研究開発を行う高等学校等。
スーパーサイエンスハイスクール	先進的な理数教育を実施するとともに、高大接続の在り方について大学との共同研究や国際性を育むための取組を推進するとともに、創造性、独創性を高める指導方法、教材の開発等の取組を実施する高等学校等。
スーパー・メガリージョン	リニア中央新幹線により結ばれた三大都市圏がそれぞれの特色を発揮しつつ一体化した世界最大の広域経済圏。
スタートカリキュラム	児童が義務教育の始まりにスムーズに適応していけるよう配慮されたカリキュラム。
スノーモンキー	一般的にニホンザルのことをいう。近年、山ノ内町の地獄谷野猿公苑で、温泉に浸かるサルが有名になっており、ここでは、そのサルのことを指す。
スポーツコミッション	地域におけるスポーツ振興、スポーツツーリズム推進に、地方公共団体、民間企業（スポーツ産業、観光産業など）、スポーツ団体等が連携・協働して取り組むことを目的としている地域レベルの連携組織。
スマートIC	高速道路のサービスエリアなどから乗り降りができるように設置され、料金の支払い方法がETC搭載車両に限定されているインターチェンジ。
スモールビジネス	商業、飲食業、コミュニティビジネス（地域資源を活かしながら地域課題の解決に「ビジネス」の手法で取り組むもの）などの小規模で行うビジネス。
3R	リデュース（Reduce）、リユース（Reuse）、リサイクル（Recycle）の総称。リデュース（ごみの発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（ごみの再生利用）の優先順位で廃棄物削減に努めるのがよいという考え方。
全窒素	水中に含まれる無機及び有機性窒素の総量。
全リン	水中に含まれる無機及び有機リン化合物中のリンの総量。全窒素とともに、数値が高いとプランクトンの発生による水質汚濁の原因となる。
総合型地域スポーツクラブ	誰でも、いつでも、世代をこえて、好きなレベルで、いろいろなスポーツを楽しむことのできる、地域住民が主体的に運営する総合的なスポーツクラブ。
総合的病害虫防除・雑草管理（Integrated	様々な防除技術を組み合わせることで、環境負荷を軽減しながら、収量や品質に経済的な被害が出ない程度に、病害虫や雑草の発生を抑制しようとする考え方。

Pest Management、I PM)	
ソーシャル・イノベー ション	社会的課題を解決するための新しい商品やサービスを開発すること。

<b>【た】</b>	
第4次産業革命	I o TやA Iを活用し、新しい付加価値を生み出す技術革新。なお、第1次から第3次までの産業革命はそれぞれ、蒸気機関による機械化、内燃機関や電力による大量生産、コンピュータやロボットによる自動化・効率化を実現した。
地域おこし協力隊	人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、都市住民など地域外の人材を地域社会の担い手として受け入れ、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした取組。
地域がん診療病院	緩和ケア、相談支援、地域連携等の基本的ながん診療を確保する役割を担い、都道府県の推薦を受けて国が指定する病院。
地域循環圏	地域の廃棄物処理の実情や食品廃棄物、家畜ふん尿、木くず等の廃棄物の種類に応じて、多様な主体が広域的に連携し、適正規模で廃棄物を資源として循環させる仕組み。
地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）	学生にとって魅力ある就職先を創出するとともに地域が求める人材を養成するために地方公共団体や企業等と協働して、教育カリキュラムを改革する大学を支援する文部科学省の事業。
中核的経営体	次代を担い本県農業の中核となる経営体。認定農業者、基本構想水準到達者、認定新規就農者、集落営農組織の総称。
地理的表示（G I）保護制度	伝統と優れた特性があり、その特性が産地と結び付いている産品の名称を国が知的財産として保護する制度。
地消地産	地域にある資源を活用して、地域で消費するものを地域で生産すること。
定住自立圏	人口5万人程度以上の中心市が、生活・経済面で関わりの深い周辺市町村と形成する圏域。地域全体で、医療・福祉・教育など生活機能の強化、交通I C Tインフラの整備や地域内外の住民の交流、人材育成など人口定住に必要な生活機能の確保に取り組むもの。
デュアルシステム	産業現場での長期の就業体験を教育課程に位置付け、学校の授業と併用して学習する産業教育の仕組み。
テレワーク	情報通信技術の活用により、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方（リモートワーク）。
デマンドタクシー	路線バスの手軽さと利用者の需要に応じて運行するタクシーの便利さを併せ持った新しい交通手段
東京オリンピック・パラリンピック文化プログラム	東京オリンピック・パラリンピックの開催に際して行われる関連文化事業。
特定行為	看護師が医師の包括的な指示を受けた上で、手順書に基づいて実施する一定の診療の補助（脱水症状に対する点滴などの38行為）。
トヨタ式カイゼン手法	トヨタ自動車の生産管理システムで、異常の発生を管理する「自動化」と、必要なものを必要な時に必要なだけ作る「ジャスト・イン・タイム」の2つの考え方が柱となっている。
トライセクターリーダー	公共、民間（企業等）、市民社会の3つの垣根を越えて活躍する人材。
トラベルサポーター	ユニバーサルツーリズムを現地でサポートするため、看護・介護や野外活動等の資格を持ち、介助方法や旅の知識等の研修を積んだスタッフ等。
ドローン	小型無人飛行機。

【な】	
長野県原産地呼称管理制度	県産農産物のブランド化を目的として、県内で生産・製造された農産物や農産物加工品を原料・栽培方法・味覚を基準に評価し、味と品質が特に優れたものを認定する制度。
NAGANO 農業女子	県内で農業を行う若い女性農業者（農業女子）を SNS 等でゆるやかにつないでいるネットワークの参加者。県内から選抜したコアメンバーを中心に活動。
長野県版運動プログラム	子どもの運動習慣づくりを通して、体力・運動能力の向上を図るとともに、コミュニケーション能力等社会性の発達を促し、生涯にわたって心身ともに健康な生活を送る基盤を培うことを目的に作成された、幼児期から中学生期までの一貫した長野県独自の運動プログラム。
長野県プロフェッショナル人材戦略拠点	県内企業の専門人材の活用による経営革新等を促進するため、平成 27 年に設置された組織。専門人材ニーズを掘り起こすとともに、首都圏等の求職者と県内企業のマッチングを実施している。
長野県プロボノベース	社会的・公共的な目的のために、専門的知識・技能を持つボランティアと NPO とのマッチングを支援する Web サイト。
長野県みらいベース	身近な公共的活動に対し寄付の形で応援する Web サイト。
日本遺産	地域の歴史的の魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定したもの。
妊孕性	妊娠する力、妊娠のしやすさ。
農業水利施設	農地へ農業用水を供給するための用水路、取水口、ため池等または農地からの排水を受ける排水路、排水機場。
農福連携	農業と福祉が連携し、農業の労働力確保と障がい者等の就労機会の拡大をめざす取組。

【は】	
バイオマス	廃材、穀物、生活ごみなど生物由来の有機物資源。
ハザードマップ	洪水や土砂災害などの自然災害が発生した場合に被害が想定される区域を地図に示し、避難場所などの情報を記載したもの。住民に周知することにより防災意識の向上、自主的な被害軽減行動を促進する。
パリ協定	2015 年 12 月、フランス・パリで開催された第 21 回気候変動枠組条約締約国会議（COP21）で採択。開発途上国を含む世界全体で、気候変動への対応を強化する国際的枠組み。
フィルムコミッション	映画、テレビドラマ、CM などのあらゆるジャンルのロケーション撮影を誘致し、実際のロケをスムーズに進めるための非営利公的機関。
光害（ひかりがい）	屋外照明などで、目的物以外の物を照らすことにより、野生動植物や農作物等への悪影響、天体観測への障害など人の活動や動植物へ悪い影響を与えること。
ビッグデータ	巨大・複雑なデータの集合。
微小粒子状物質（PM2.5）	大気中に浮遊している粒径 2.5 μm 以下の粒子。粒径が小さいため肺の奥深くまで入りやすいことから、近年、その健康影響が懸念されている。
プラチナナース	業務経験 25 年以上の看護職員。
ふるさと信州寄付金	県外・居住者が長野県への納税により、特産物品などの返礼品を受け取るとともに、所得税・個人住民税の控除対象となる制度。
プレメディカルケア産業	地域住民が健康意識を高め、より健康的に生活できるよう、地域企業や専門家等が連携・協力し、身近な健康維持・増進の機会を提供する産業を表す造語。
フレイル	加齢とともに筋力や認知機能が低下し、生活機能障害・要介護状態などの危険性が高くなった状態。

保険者協議会	医療保険者、国保連合会、県が構成員となり、保健事業等の共同実施、医療計画等の策定及び変更に関し、意見提出等を行い、健康づくりの推進を図るもの。
本州中央部広域交流圏	新幹線・幹線鉄道や空港、高規格幹線道路、リニア中央新幹線により本州の中央部に形成される、東日本と西日本、太平洋と日本海を結ぶ大規模な交流圏。

<b>【ま】</b>	
水防災意識社会	行政・住民・企業等の各主体が想定最大規模降雨での水害リスクに関する知識と心構えを共有し、避難や水防等の事前の計画・体制、決壊までの時間を少しでも引き延ばす粘り強い堤防など、被害軽減を図るための対応が備えられた社会。
ミッシングリンク	高規格幹線道路・地域高規格道路に未整備区間があるため、途中で途切れていること。
南信州民俗芸能パートナー企業	南信州地域の民俗芸能の保存・継承に協力し支援を行う者として県が登録した企業、法人及び団体（国及び地方公共団体を除く）。
民泊サービス	住宅（戸建住宅やマンションなどの共同住宅等）の全部又は一部を活用して、旅行者等に宿泊サービスを提供する事業。
民有林	国有林以外の森林で、県や市町村・財産区が所有する公有林と個人や会社・社寺など法人が所有する私有林の総称
ものづくり現場の生産革新活動	工場等の現場において、品質向上、コスト削減、納期短縮等を図るために行う諸活動。
モビリティ・マネジメント	一人ひとりのモビリティ（移動）が、社会的にも個人的にも望ましい方向（過度な自動車利用から公共交通等を適切に利用する等）に変化することを促す、コミュニケーションを中心とした交通政策。
森林（もり）の里親契約	森林の整備と活用に意欲を有する地域と環境保全活動に熱心な企業や団体が、森林整備や住民との交流を目的として締結する契約。

<b>【や】</b>	
山のグレーディング	登山ルートに登山者の体力度と技術的な難易度で評価したもの。

<b>【ら】</b>	
リノベーション	既存の建物に大規模な改修工事を行い、用途や機能を変更して性能を向上させたり付加価値を与えること。
リモートワーク	情報通信技術の活用により、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方（テレワーク）。
林福連携	林業と福祉が連携し、林業の労働力確保や里山保全と障がい者等の就労機会の拡大をめざす取組。
連携中枢都市圏	相当の規模と中核性を備える圏域の中心都市が近隣の市町村と形成する圏域。コンパクト化とネットワーク化により経済成長のけん引、高次都市機能の集積・強化及び生活関連機能サービスの向上を行うことにより、人口減少・少子高齢社会においても一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持するための拠点を形成するもの。

【その他】 (アルファベット順)	
A I	Artificial Intelligence 人工知能。人間の脳が行っている知的な作業をコンピュータで模倣したソフトウェアやシステム。具体的には、人間の使う自然言語を理解したり、論理的な推論を行ったり、経験から学習したりするコンピュータプログラムなどを指す。
A D L	Activities of daily living 食事する、歩行する等、日常において人が生活するために繰り返し行う基本的な身体動作。
C O D	Chemical Oxygen Demand 化学的酸素要求量。湖沼などの有機物による汚濁の程度を示すもので、水中の汚濁物質を酸化剤によって酸化するときに消費される酸素の量。数値が高いほど有機物の量が多く、汚れが大きいことを示す。
D M O	Destination Management/Marketing Organization 地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人。
E S D (持続可能な開発のための教育)	Education of Sustainable Development 地球規模の課題（平和、貧困、人権、環境等）を自らの問題として捉え、一人ひとりが自分でできることを考え、実践していくことを身に付け、課題解決につながる価値観や行動を生み出し、持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動。
G A P	Good Agricultural Practice 農業生産工程管理。食品安全、環境保全、労働安全等の視点から、農業生産活動を行う上で必要な関係法令等の内容に則して定められる点検項目に沿って、各工程の正確な実施、記録、点検及び評価を行うことによる持続的な改善。
H A C C P	Hazard Analysis and Critical Control Point 食品の製造過程で衛生管理を行う上で、事前に定めた重要なチェックポイントを確認することにより、最終製品の安全性を保障するシステム。
I C T	Information and Communication Technology 情報通信技術。コンピュータ関連の技術を IT(Information Technology)、その活用に着目する場合は ICT とする場合もある。
I o T	Internet of Things モノのインターネット。あらゆる物がインターネットを通じてつながることによって実現する新たなサービス、ビジネスモデル、またはそれを可能とする技術の総称。
J G A P	日本GAP協会により開発されたGAPのスキームの一つで、農場運営、食品安全、環境保全、労働安全、人権・福祉の視点から適切な農場管理のあり方についてまとめられたもの。
J I C A	独立行政法人国際協力機構。技術協力、有償資金協力（円借款）、無償資金協力の援助手法を一元的に担う総合的な政府開発援助（ODA）の実施機関。
J O C A	青年海外協力協会。開発途上国の人々のために自分の持つ技術や経験を生かし活動してきた青年海外協力隊の帰国隊員を中心に組織されている、内閣府認定の公益社団法人。
M I C E	多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（Incentive Travel）、国際機関・団体、学会等が行う国際会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）の頭文字。

P F I	Private Finance Initiative 公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法。
S D G s (持続可能な開発目標)	Sustainable Development Goals 2015 年 9 月に国連持続可能な開発サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 年アジェンダ」に盛り込まれた 17 の目標。
Society5.0	国の第 5 期科学技術基本計画に掲げられている「狩猟社会」、「農耕社会」、「工業社会」、「情報社会」に続く、「超スマート社会」の実現に向けた一連の取組。
S W A N プロジェクト	Superb Winter Athlete Nagano 1998 年開催の長野冬季オリンピックのレガシーを最大限に活用しながら、子どもたちに世界で活躍する競技者となる「夢とチャンス」を与えることを目的としたプロジェクト。